

福岡市南区の閑静な住宅街にある福岡海星女子学院。今回、お訪ねしたのはその敷地内に立つ福岡海星女子学院マリア幼稚園です。キリスト教の精神に基づく同園では、イタリアの医師モンテッソーリの考え方を取り入れ、自立性を育む幼児教育を実践しています。石黒トキ園長先生に園内を案内していただきました。

教室をのぞくと、ハサミやノリを使って作品を作る子どもがいる一方で、友だち同士パズルや積み木をする子どももいます。自由遊びのようですが、これはモンテッソーリ教育のひとつ「おしごと」と呼ばれる授業。「3歳から6歳までは感受性が伸び



新しくお目見えした園舎。自然光が入る明るい室内は、木をふんだんに使った温かな印象の空間です。

子どもの心に寄り添って 自主自立を見守る

～福岡海星女子学院マリア幼稚園を訪ねて～

る時期。手を使いながら見て聞いて、自分で考えることが大切になります」と石黒園長。「子どもはいろいろなことをやりたくてうずうずしていますが、家庭ではダメと言われることが多い。ところが、やりたいことを落ち着いてできる環境があれば満たされて取り組み、達成感を味わいます。心も安定して集中力や忍耐力が身に付きますよ」

授業には、さまざまな感触の布を目をつぶりながら触ってその感覚を頼りに同じ布を当てるとか、いろいろな音がする筒を振って音を聞き分け、同じ音がする筒を当てるといったユニークなものいろいろ。で

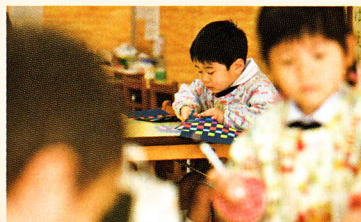


園庭での体育の授業。体育や音楽、絵画、宗教は年齢ごとに分かれ、発達に沿った活動もします。

も、どれに取り組むかはすべて子どもにまかせて自主性を養います。

また、同園は年少、年中、年長児が同じクラスに属する縦割りクラスが特徴。年長児が年少児のお世話をする姿が見られますが、これも年下をいたわることで自尊心や自立心が自然に生まれることを期待しての教育方針です。

今年4月には建物を新築して2歳から3歳までの未就園児クラスを創設。集団のなかで遊ぶ楽しさを早期に体験させられ、保護者同士の情報交換もできると好評を呼んでいます。



切る、貼る、縫うなど、日常生活の基本を教材を使って学ぶ「おしごと」。



「けんかしてもわかり合えれば「ごめんさい」と言葉に出せる子どもたちを見て、大人もこうありたいと思います」と石黒トキ園長。50年におよぶ幼児教育の実践者です。

設備とともにますます充実していく同園の幼児教育。時代の流れとともに大きく移り変わる教育環境のなか、モンテッソーリの考えに基づく一貫した教えはこれからも注目を集めそうです。



園舎に登園すると園児たちはマリア様に元氣よく朝のご挨拶をします。



布を触ったり、音を聞き分けたりして「感覚」に重きを置いた教具もモンテッソーリの考えに基づくもの。

学校法人福岡海星女子学院
マリア幼稚園

●所在地 / 福岡市南区老司5-29
●TEL / 092-565-0951